



委員の視点

# 安全と安心の間

## ゲリラ雷雨の中で

今年の夏はゲリラ雷雨が日本中で暴れ回ったので、大変な目に遭われた方も多いでしょ。私もそうでした。

東京の目黒・世田谷に1時間100ミに相当するという雷雨があった夕方、ちょうどその地域を横断すべく車を走らせていたのです。ぽつりと降り出した雨が、一瞬後に叩きつけるような強雨に変わり、真つ黒な雲の間に光る稲妻と一拍後に轟く雷鳴の中で、どうしたらいいか考えなくてはなりませんでした。

中学時代あたりに学んだ科学の知識だと、確か…自動車に落雷しても電気は車体を伝わって逃げるから車内にいれば感電しない。道路の冠水も少々であればエンジンに浸水などしないように構造設計されている…だから、乗りかかった船(車ですが)なら慌てずにゆるゆると走らせ続けた方がよいはず、というのがそのときの結論です。「安全はそんなに脅かされてはいない」。

しかし…タイヤが巻き上げる水の凄さに圧倒されつつ車を走らせながら、私はそんなに「安心」してはいませんでした。

## 「安心」は「腑に落ちる」こと

「安全」と「安心」の間をどう繋いでいかを考える立場になって以来、この2つのあいだには想像していたよりもはるかに遠い距離があることを実感しています。そして、水の滴る女になって(なりたくなんかありませんでした!) 何とか目的地に到着したとき、やはりこれも「似ている」

とふと思いました。私は多少「知って」いました。だから行動を選べたのだと思います。でも、私の知識は聞きかじり以上のものではなく、そのことを自分でも分かっていたので、心の問題は解決できず不安だった。そうでなければ、ずっと落ち着いて安心していられたはずです。

それならどうすれば「安心」できるか? 知識を増やす=情報を集めればよいのでしょうか?

私はそんな簡単なことではないと思います。知識は確信に繋がらなければ「安心して行動」には繋がらないような気がします。これを「腑に落ちる」と言い換えても良いでしょう。昔の人はいいことを言いました。頭だけではない、心でさえない、おなかにストンと落ちることが重要なのだと。

では、腑に落ちるには? これが相当難しいのです。いえ、だんだん難しくなってきたのです。私たちが知識を増やすことは恐ろしく簡単になりました。今や情報は居ながらにして手に入ります。パソコンやスマホのない人は情報難民などと呼ばれる始末。私たちはごく普通に情報の大海にどっぷりと漬かり、一昔前の人々に比べたら相当物知りになりました。ですがちっとも腑に落ちさせてもらえない。何故か?

それは情報に「質」の差があるからです。多分私たちは無意識にそれを分かっているのでしょう。だから不安なのです、行動には踏み切れないのです。

信頼性の高いものから、ちょっとした素人の思いつきまで同じ平面にずらりと並べ

られて私たちは途方にくれます。一体どう見分けるの?

## 元を辿っていこう

かつて放送番組作りをしていたとき、一番厄介なのは人名や地名、固有名詞の読み方でした。常識とか原則が通用しないのです。なにしろ、父親と息子が同じ姓を別々の読み方で名乗っていたケースさえありましたから。毎回番組の終わりに「お詫びして訂正いたします」を繰り返す後輩たちに、デスクは地名なら役場、人名は本人に直接電話せよと、飽くことなく説教していたものです。

情報の見分け方のヒントは実はここにあります。最も近いところを探せ。当事者に当たれ。情報の洪水もよくよく見れば「他人の言ったこと」が大部分です。案外、本人=生の情報は少ないのです。

最近人々の会話に頻繁に「科学的」という言葉が登場します。これは原理原則に立ち返り、シンプルに物事を考えたい、本質を見極めたいという動きが出ていることを表してはいないでしょうか?

見極められたと思ったら、腑に落ちたら、後はもう…自分の判断です。

「科学的」に評価する食品安全委員会が発信する情報は、その意味で、今後より重要になり、大切にされて良いと思っています。少し手前味噌ですが。



## 食品の安全性に関する知識・理解を深めていただくために

食の安全ダイヤル

03-6234-1177 受付時間 10:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日、年末年始を除く)

[Eメール受付] <https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-0001.html>

食品安全委員会 e-マガジン登録

[http://www.fsc.go.jp/sonota/e-mailmagazine/e\\_new\\_mailmagazine.html](http://www.fsc.go.jp/sonota/e-mailmagazine/e_new_mailmagazine.html)

「食の安全ダイヤル」「e-マガジン登録」は、食品安全委員会のホームページからもアクセスできます。

食品安全委員会ホームページ

<http://www.fsc.go.jp/>

食品安全委員会

検索

